資料No.１

令和５年度

事業報告書

（自）令和　５年　４月　　１日

（至）令和　６年　３月３１日

社会福祉法人

壱岐市社会福祉協議会

総　括

新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月 8 日に 5 類感染症移行となり、ワクチン接種の広まりで、感染予防効果が功を奏して、徐々に平常の日常生活を取り戻しつつあります。

本会が、主催する各種地域福祉交流活動も、その時々の感染状態をにらみながらも、継続的に開催出来るようになりました。

この様な状況の中、コロナ禍の後遺症ともいうべき社会的孤立や孤独・引きこもりなど、高齢者や障がい者、子ども達の生活上の困難性に直面する課題が多く見られることは否めない状況にあります。

このような、潜在化した複雑・多様化した生活課題に対応するため、壱岐市社協では、地域福祉活動の協力・協働の連携と相談支援する体制の充実を重点に取り組んでまいりました。

地域福祉事業のサロン活動では、社会参加・地域交流で自ら気づき、健康づくりやフレイル予防を重点活動に努めました。

ひとり親家庭を対象に、「社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき」の支援を得て、物価高騰による生活困窮の子育て家庭等（27 世帯）へ食品、日用品の配布を、新規取り組み事業として行っています。

地域包括支援センター相談窓口業務においても、重点的に取り組みました。

介護保険事業運営では、コロナウイルス感染症の 5 類移行後、利用者の利用ひかえの回復、利用者の増加などが徐々に回復基調とすることと相まって、併せて、事務事業の効率化や徹底した経費の節減、人件費の圧縮などに注力しました。その下位あって、堅調な事業実績となり、事業収益に大幅な改善を見たところであります。

これからも、生活困窮対策など新たな課題にも積極的に取り組み、適正で健全な事業運営の遂行に努めてまいります。

以下、取り組み内容は、下記のとおり報告いたします。

Ⅰ．法人運営事業

1	役員会議等	自主	総務企画課

(1) 正副会長・専門委員長会議の開催状況

回	開催期日	主な内容
第1回	R5.12.7	社協介護運営事業等サービスの動向、壱岐ライオンズクラブとの災害ボランティア活動に関する協定書締結依頼他
第2回	R6.3.11	令和6年度事業計画・予算、令和6年度地域還元福祉事業及び福祉事業対策使途計画、契約職員の勤務に関する規則の一部変更、後見センター長設置要領、再雇用の介護支援専門員に関する要領、福祉資金貸付金の不納欠損処分 福祉サービス利用料の不納欠損処分

(2) 理事会の開催状況

回	開催期日	主な内容
第1回	R5.6.13	災害ボランティアセンター協定書の締結報告、令和4年度赤い羽根募金「赤い羽根号」助成決定の報告、事業報告・決算報告の承認
第2回	R5.7.1	会長・副会長の選任、専門委員会委員長の互選
第3回	R5.7.11	実績手当支給の承認
第4回	R5.9.28	赤い羽根共同募金「赤い羽根号」寄贈、つなぐBANKいきの取り組み開始 令和5年度最低賃金改定並びに30時間以上契約職員の雇用に関する要領及び30時間未満契約職員の雇用に関する要領の一部変更、職員給与規程の一部変更
第5回	R5.11.17	上半期事業経過報告・上半期決算報告の承認、役員等の活動費及び費用弁償に関する規程の一部変更、職員給与規程の一部変更、補正予算（第1号）の承認
第6回	R6.3.11	令和6年度事業計画・予算の承認、令和6年度地域還元福祉事業及び福祉事業対策使途計画、契約職員の勤務に関する規則の一部変更、後見センター長設置要領、再雇用の介護支援専門員に関する要領、福祉資金貸付金の不納欠損処分、 福祉サービス利用料の不納欠損処分

(3) 専門委員会の開催状況

回	開催期日	主な内容
第1回	R5.12.12	社協介護運営事業等サービスの動向、壱岐ライオンズクラブとの災害ボランティア活動に関する協定書締結依頼他

⑷ 評議員会の開催状況

回	開催期日	主な内容
第1回	R5.6.30	災害ボランティアセンター協定書の締結報告、令和4年度赤い羽根募金「赤い羽根号」助成決定の報告、事業報告・決算報告の承認
第2回	R5.11.24	上半期事業経過報告・上半期決算報告の承認、役員等の活動費及び費用弁償に関する規程の一部変更、職員給与規程の一部変更、補正予算（第1号）の承認
第3回	R6.3.26	令和6年度事業計画・予算の承認、令和6年度地域還元福祉事業及び福祉事業対策使途計画の承認

⑸ 監査の実施状況

	実施期日	主な内容
決算	R5.6.1	令和４年度決算資料監査事前検証（弥長顧問税理士）
決算	R5.6.6～R5.6.7	令和４年度事業及び決算
中間	R5.11.8～R5.11.9	令和５年度上半期仮決算

⑹地域福祉会議の開催状況

（開催なし）

⑺評議員選任・解任委員会の開催状況

回	開催期日	主な内容
第1回	R5.5.10	評議員選任・解任委員会委員長・副委員長選任について 評議員解任・選任について

⑻苦情解決第三者委員会の開催状況

（開催なし）

苦情報告件数	0件

⑼役員等報酬審議会の開催状況

回	開催期日	主な内容
第1回	R5.10.26	役員等の報酬に関する諮問について
第2回	R5.11.6	役員等の報酬に関する答申について

2	職員の分布状況・休業状況	自主	総務企画課・各課

⑴職員分布状況（令和６年３月31日現在）は下表のとおりです。

女性活躍推進に関する行動計画は、管理的役職の女性割合が44％と目標値40％を上回りました。

障害者雇用率は、９名（3.3％）が就業しており、法定雇用率2.3％を上回りました。

種別(勤務H/W)	R3	R4	本所	郷ノ浦支所	勝本支所	芦辺支所	石田支所	R5年度末（合 計）
正規	133	126	16	33	23	41	13	126
契約(40H/W)	9	13	0	1	1	3	1	6
契約(30H/W)	88	68	3	22	15	21	10	71
契約(20H/W)	38	63	0	16	10	21	12	59
合計	268	270	19	72	49	86	36	262

⑵将来３ヵ年先の退職予想状況は下表のとおりです。

職種	R6年度末	R7年度末	R8年度末	計
事務職員	1			1
介護職員	3	2	4	9
計	4	2	4	10

⑶休業等の状況

① 新型コロナウイルス感染症に伴う休業状況

（単位：日間）

		訪問介護	通所介護	ゆうゆうお達者ｸﾗﾌﾞ	すまいるｸﾗﾌﾞ	ｼﾞｭﾆｱﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	合計
令和2年度	郷ノ浦						0
	勝本	4	15				19
	芦辺						0
	石田						0
	湯ノ本			15			15
	合計	4	15	15	0	0	34
令和3年度	郷ノ浦				2	2	4
	勝本						0
	芦辺		1				1
	石田		3				3
	合計	0	4	0	2	2	8
令和4年度	郷ノ浦		7		10		17
	勝本						0
	芦辺		10				10
	石田		10		18		28
	合計	0	27	0	28	0	55
令和5年度	郷ノ浦	令和5年度は休業なく、通常予定どおりのサービス提供を行った					0
	勝本						0
	芦辺						0
	石田						0
	合計	0	0	0	0	0	0

② 風水害に伴う休業状況

・令和５年８月９日台風６号の影響により放課後児童クラブは１日休所となりました。

・配食サービスは時間調整を行い実施。他は通常通り営業を行いました。

⑷壱岐市消防団への加入状況

	R3	R4	R5
計	5	4	4

⑸高齢者・障がい者虐待防止等体制整備状況

利用者の人権擁護等の防止観点から委員会の体制整備、研修の実施、担当者の設置を事前準備開始しました。尚、令和６年度から義務化されます。委員会については下記のとおり開催しました。

	開催回数	主な協議内容
虐待防止等検討委員会	4	○指針・マニュアルについて（周知） ○虐待防止研修R6.1.12（報告）
身体拘束適正化委員会	4	○身体拘束適正化に向けて
感染症予防検討委員会	4	○指針・マニュアルについて（周知） ○5類移行後の感染対策について ○感染状況（報告）

3	啓発活動（広報誌発行等）	自主	地域福祉課

広報「ほほえみ」にて事業部門内容の紹介ＰＲを実施すると伴に社協ホームページの更新に努めました。事前の情報収集や資料作成に努めました。

広報紙名	発行回数	1回当りの発行部数
ほほえみ	6回	9,800部

4	災害対策	自主	総務企画課・各課

⑴「壱岐市における災害ボランティアセンターに関する協定書」の締結

４月５日付、壱岐市と締結しました（県下 11 番目の発足）。

⑵壱岐市防災訓練合同壱岐市災害ボランティアセンター実働演習

11 月５日実働演習に 29 名参加（各町民協 12 名、市民福祉課担当者２名、社協本所８名、社協支所７名）





⑶業務継続計画（BCP）策定

感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービスの提供を実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための業務継続計画（BCP を策定しました。

尚、令和６年度から介護保険・障害福祉サービスの全サービスで義務化されます。

5	人材育成事業	地域還元事業	総務企画課

地域還元福祉基金使途計画に基づいて、職員の資質向上と人材確保を目的に職員の育成に努めています。

種類	主な内容	R3	R4	R5
(1)接遇研修	目的：接遇マナーの基本姿勢、心構えを学ぶ 講師：ヒューマンナガサキ　田中美吉子氏 受講者（名）			50
(2)虐待予防研修	目的：虐待につながる不適切なケアが常態化していないかの確認や 不適切なケアが起こる要因とその改善方法を学ぶ 講師：長崎介護実践研究所　金松敏信氏 受講者（名）			159
(3)介護福祉士実務者研修事業	目的：壱岐市内において、福祉部門の人材育成を行うことで 高度な知識や技術を備えた介護福祉士の育成と資格取得 並びに質の高い人材確保を行うことを目的に開催する。 受講者（名） うち社協職員（名） ひとり親家庭助成（名）	11 7	5 5	10 2 2
※R5年度は長崎県ひとり親家庭等自立促進センターと共催となり、ひとり親家庭への就労助成協力を得ました。 （助成金80,000円対象者2名、内社協職員1名）				
(4)資格取得助成事業	資格取得に係る職員への資格取得助成制度 職員数（名） 助成額（円）	9 385,530	4 146,310	6 187,170

(5)職員修学及び派遣研修事業状況

職員の専門知識の取得・関係資格の取得及び資質の向上を目的に、こころ医療専門学校壱岐校（２年間）へ職員２名を修学させています。

	R1	R2	R3	R4	R5	計
男性			1	1	1	3
女性	1		1	1	1	4
計	1	0	2	2	2	7

(6)職場業務研修等の参加状況　※職員研修項目は基金事業参照

①ICT（情報通信技術）の活用でオンライン会議に出席しました。

職員の移動時間等の削減と経費効率化に努めました。

	開催回数	出席人数	主な研修内容
オンライン研修	53	212	長崎県、全社協、県社協、関係団体等の研修会議等

②対面式の市内及び市外集合研修に下表のとおり出席しました。

	開催回数	出席人数	主な研修内容
市内研修	17	44	市役所、保健所、関係団体等の研修会議等
市外研修	26	14	資格取得等の研修会議等

6	壱岐市民生委員児童員協議会事務局	市委託	各４支所

地域福祉を推進するため、毎月開催する定例会（郷ノ浦・勝本：第三金曜、芦辺：第二木曜、石田：第三木曜）の開催支援運営を担当しました。

項目	郷ノ浦	勝本	芦辺	石田	合計
単位民生委員児童委員協議会	－	－	－	－	４地区
定数（名） ※主任児童委員2名含む	30	21	25	17	93
訪問回数　回／年（累計）	4,606	2,227	5,473	2,251	14,557
活動日数　日／年（累計）	3,108	2,215	4,106	2,128	11,557
主な会議等	高齢福祉部会、障害福祉部会、児童母子福祉部会、女性部会等				

7	他機関との連携・協力等	自主	各課・支所

市及び関係機関との連携・支援・協力として、職員の派遣協力、役職員による会議の委員等協力、実習先の受入れ等を行いました。

① 関係機関の行う大会等への参加協力

	開催日	大会等	協力等
各団体	R5.5.27（土）～28（日）	・長崎県障害者スポーツ大会	訪問介護職員を同行援護者として派遣（1名）
	R5.10.21（土）	・壱岐市ウルトラマラソン	救護班として派遣（5名）
	R6.2.25（日）	・壱岐島医療福祉研究発表会	審査員（1名）、実行委員として参加協力（2名）

② 関係機関等との連携・会議出席

		各種会議等	開催回数
1	壱岐市	・壱岐市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画作成委員会	4
2		・地域福祉計画策定委員会	－
3		・第40回国民文化祭・第25回全国障害者芸術・文化祭 障害者芸能文化部会	総会3 委員会2
4		・壱岐市自治体基本条例審議会	5
5		・壱岐市総合計画審議会	1
6		・壱岐市まち・ひと・しごと創生会議	1
7		・壱岐市障害者地域自立支援協議会	2
8		・壱岐市障害者地域自立支援協議会（児童部会）	3
9		・壱岐市障害者地域自立支援協議会（地域生活移行部会）	1
10		・壱岐市障害者地域自立支援協議会（地域生活移行部会）	1
11		・壱岐市包括窓口担当者会	12
12		・精神関係者連絡会	12
13		・壱岐市いのちを支える自殺対策ワーキング・ネットワーク合同会議	2
14	壱岐保健所	・壱岐市母子保健推進協議会・壱岐市母子保健連絡会	1
15		・壱岐地域不登校・ひきこもり支援連携会議	1
16		・壱岐地域精神保健医療福祉協議会	3
17		・壱岐保健所精神障害者退院支援連携会議	1
18		・壱岐地区歯科保健推進協議会・壱岐市歯科保健連絡会	1
19		・デンタルワークショップ 壱岐実行委員会	2
20	県社協	・長崎県市町社会福祉協議会連絡協議会	3
21		・市町社会福祉協議会事務局長等会議	3
22	その他団体	・壱岐市自立支援検討会（地域ケア会議）	3
23		・壱岐市地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	1
24		・壱岐地域リハビリテーション広域支援センター 運営会議	2
25		・壱岐地域リハビリテーション広域支援センター 介護予防委員会	2
26		・壱岐地域リハビリテーション広域支援センター 認知症委員会	4
27		・壱岐地域リハビリテーション広域支援センター 口腔ケア委員会	4
28		・壱岐島医療福祉研究発表実行委員会	3
29		・介護人材育成確保対策地域連絡協議会	3
30		・映画「オレンジランプ」実行委員会	2
31		・壱岐ウルトラマラソン実行委員会	2
32		・壱岐市地域密着型通所介護まごころ サービス運営委員会	1
33		・グループホーム壱岐の郷　運営推進会議	5
34		・「いわたぬの会」石田小学校・中学校連絡協議会	3

Ⅱ．会費・寄附金等・共同募金等

1	会費会員	自主	総務企画課

⑴会費

自治会・市・住民団体・企業・福祉団体・個人から多くの浄財である社協会費の協力を得ました。

①年度別

種類	R3	R4	R5
特別会員	[352名]	[319名]	[309名]
	1,651,000円	1,513,000円	1,511,000円
賛助会員	[611名]	[584名]	[576名]
	647,000円	612,000円	612,500円
一般会員	[711名]	[753名]	[747名]
	355,500円	376,500円	373,500円
計	2,653,500円	2,501,500円	2,497,000円

② 町別

種別	郷ノ浦		勝本		芦辺		石田		当年度末（合 計）	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
特別会員	82	439,000	41	210,000	143	718,000	43	144,000	309	1,511,000
賛助会員	75	75,000	250	254,000	141	157,000	110	126,500	576	612,500
一般会員	1	500	709	354,500	0	0	37	18,500	747	373,500
計	158	514,500	1,000	818,500	284	875,000	190	289,000	1,632	2,497,000

2	寄附	自主	総務企画等

⑴寄附

善意の寄附金が多く寄せられました。寄附金は生活困窮者や忌明け寄附者に対する助成金等に活用しました。

種類	R3	R4	R5
忌明寄付	[285件]	[265件]	[259件]
	6,500,000円	5,676,000円	5,783,000円
一般寄付	[11件]	[17件]	[12件]
	164,229円	372,625円	226,423円
篤志寄附	[2件]	[1件]	[1件]
	300,000円	100,000円	100,000円
計	6,964,229円	6,148,625円	6,109,423円

⑵忌明け寄付者に対する初盆供物配布

令和５年８月に初盆を迎えられた下記寄付者に対し、供物（御霊前）を贈りました。

（単位：件）

	R3	R4	R5
本所	20	17	22
郷ノ浦支所	59	75	59
勝本支所	70	57	59
芦辺支所	62	95	66
石田支所	44	41	34
合計	255	285	240

3	共同募金等実施状況	自主	地域福祉課

（単位：円）

⑴赤い羽根募金の実施をお願いしました。（募集期間：10 月 1 日～3 月 31 日）

		R5		
R3	R4	目標額	達成率	実績額
4,542,368	4,495,629	3,896,000	113.9%	4,439,431

⑵地域域歳末助け合い募金の受付を行いました。（募集期間：12 月 1 日～12 月 31 日）

		R5		
R3	R4	目標額	達成率	実績額
16,132	17,083	10,000	357.9%	35,794

⑶日本赤十字社社資募集協力（募集期間：5 月 1 日～5 月 31 日）

5 月に市内自治公民館へ募集協力の呼びかけを行いました。

		R5		
R3	R4	目標額	達成率	実績額
2,932,120	2,880,800	2,956,000	95.4%	2,820,560

⑷長崎県殉国慰霊奉賛会会費勧募協力（募集期間：5 月 1 日～5 月 31 日）

5 月に自治公民館館長への勧募の協力の呼びかけを行いました。

		R5		
R3	R4	目標額	達成率	実績額
463,380	454,201	450,000	99.1%	445,800

⑸災害義援金

市内へ広く義援金募集要請の周知を行いました。集まった浄財は、日赤へ送金し、その領収証は日赤よりご本人へ送付されています。

災害名	実績額
R5年能登地方地震災害義援金	30,790
R５年台風2号大雨災害義援金	1,497
R5年７月７日からの大雨災害義援金	2,082
R6年能登半島地震災害義援金	725,955

⑹海外救援金

社協 4 支所窓口に募金箱設置し、広報誌ほほえみに掲載。

広く市内へ呼びかけしました。集まった浄財は日赤長崎県支部へ送金しました。

災害名	実績額
2023 年トルコ・シリア地震救援金	4,064
2023 年ウクライナ人道危機救援金	1,194

⑺24 時間テレビ募金

市内の企業・団体に協力頂き、募金箱の設置を行いました。また、市内４ヶ所の量販店で街頭募金を行ない、前年度より約３倍募金実績が伸びました（コロナ禍で R3、４年度の街頭募金は中止）。

実績額	前年度
723,531	245,617

4	自動販売機設置募金事業	自主	地域福祉課

赤い羽根共同募金の自動販売機は社協４ヶ所（本所・郷ノ浦支所・勝本支所・石田支所）に設置しました。

R3	R4	R5
1,714円	2,739円	53,789円

5	共同募金団体助成配分	自主	地域福祉課

赤い羽根共同募金の助成金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組んでいます。

助成種類	助成数
ボランティアグループ団体	7団体
地区社会福祉協議会	4団体
ボランティア協力校	24校
当事者・福祉団体	4団体

6	福祉車両の寄贈	自主・補助金	地域福祉課

赤い羽根共同募金会より一部配分金助成（155 万）を受け、放課後児童クラブ車両を配備しました。
※現在８台の下記寄贈車両が稼働中

	登録日	車種	支所
1	H15.5.22	（普）ステップワゴン	郷ノ浦
2	H18.6.5	（普）ステップワゴン	芦辺
3	H19.5.31	（軽）エブリィ	芦辺
4	H21.6.5	（軽）タントスローパー	芦辺
5	H23.6.8	（普）ステップワゴン	石田
6	H25.6.17	（軽）タントスローパー	郷ノ浦
7	H27.7.21	（軽）スペーシア	芦辺
8	R5.8.8	（普）セレナ	郷ノ浦



Ⅲ．地域福祉事業・ボランティアセンター事業

1	福祉教育	自主	地域福祉課

⑴福祉体験学習

アイマスク・車椅子体験を通して、「障がい」について関心をもたせる。障がい者の気持ちを考えるなど、様々な立場の人が一緒に生活していることに気付かせる育成をするため、４年生の体験学習の要請に応じて体感学習支援を行いました。

●福祉体験学習依頼小学校

R3		R4		R5	
鯨伏小学校4年生	8名	盈科小学校4年生	47名	盈科小学校4年生	45名
勝本小学校4年生	19名	鯨伏小学校4年生	14名	勝本小学校4年生	19名
瀬戸小学校4年生	14名	瀬戸小学校4年生	11名	瀬戸小学校4年生	17名
石田小学校3年生	8名	八幡小学校3.4年生	10名	石田小学校4年生	32名
石田小学校4年生	34名	石田小学校4年生	30名		
		筒城小学校3.4年生	18名		
	83名		130名		113名

⑵各機関が行う人材育成実習生等の受け入れ協力

機関等	人数	期間	実習場所
こころ医療福祉専門学校（学生）	2人	R5.6.5～6.16(10日間)	勝本デイ
こころ医療福祉専門学校（学生）	2人	〃	芦辺デイ
こころ医療福祉専門学校（学生）	2人	〃	石田デイ
壱岐市立芦辺中学校　3年生	3人	R5.10.11～10.13(3日間)	芦辺デイ
虹の原特別支援学校　3年生	1人	R5.10.30～11.10(9日間)	芦辺障がいデイ
こころ医療福祉専門学校（学生）	2人	R5.11.27～12.26(22日間)	勝本デイ
こころ医療福祉専門学校（学生）	2人	〃	芦辺デイ
合　　計	14人		

2	サマーボランティア協力活動	長崎県社協	地域福祉課

施設利用者とのふれあいや介助の手伝い。施設行事への参加、協力による利用者とのふれあいなどのボランティアを R5.7.1～9.30 の間で実施しました。今年は市内各中学校へ呼びかけて、学童保育とのふれあい体験協力を行いました。

学校名	人数	活動内容
郷ノ浦中学校	9	学童保育等とのふれあい体験活動
勝本中学校	1	
石田中学校	30	

3	ふれあいサロン	自主	地域福祉課

社会参加・地域交流で、自ら気づき、健康づくりやフレイル予防に努めています。
近年のコロナ禍によって引きこもり高齢者が散見されることから、参加が見込めない会員を名簿から除くよう指導したため登録者週数が減少しました。

区分	郷ノ浦	勝本	芦辺	石田	当年度末①	前年度末②	増減①-②
サロン数（団体）	13	16	23	9	61	61	0
登録者数（人）	196	179	296	110	781	848	▲ 67
					前年比	92%	

4	つなぐBANKいきの取り組み事業	自主	地域福祉課

R5.12月よりひとり親家庭（児童扶養手当受給者）を対象に総合支援事業を開始。　物価高騰による生活困窮の子育て家庭等に対し、実施したものです。

支援期間はR5.12月～R6.10月。年6回偶数月に支援（児童扶養手当支給が奇数月のため）

27世帯（子ども41名）へ食品、日用品の配布を行いました。

実施回数	日程	世帯	子ども数
第１回	12月19日	１4世帯	20名
	12月21日	１世帯	２名
	12月26日	１１世帯	１８名
	１月9日	１世帯	１名
第2回	2月6日	２３世帯	３５名
	2月13日	３世帯	３名
	2月14日	１世帯	３名



※県より設備品費として100万円助成を受けました。

5	つながりワーカー養成研修	補助金	地域福祉課

地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材を養成することを目的に、ふれあいサロン、老人クラブ、まちづくり協議会などが参加し、中央共同募金会の助成により開催しました。

期日	会場	出席者数
R5.11.29	壱岐島開発総合センター	62名





6	ユニバーサルツーリズムセンター観光地入浴介助等支援事業	連携	地域福祉課

R5.2.27付長崎市の民間団体「長崎ユニバーサルツーリズム」と壱岐市社協は、壱岐市を観光に訪れる高齢者や障がい者に対し、宿泊施設などの入浴介助サービスを主体とする連携協定を結びました。

長崎県の補助を受け同団体が運営するワンストップ窓口「県ユニバーサルリズムセンター」は利用者希望から相談があると壱岐市社協に紹介。壱岐市社協は介護職員を宿泊施設に派遣して、両者が有する資源を活用して地域振興に寄与する取り組みです。※本年度は取組はありませんでした。

7	ボランティアの集いの開催	市補助	地域福祉課

2 月 26（月）離島センターにて 130 名参加。講師に藤本剛丈氏をお招きし、災害時の備え、学習の機会、非常時のボランティア人材確保を目的に研修会を開催しました。同日、事前の災害ボランティア登録は 30 名でした。

8	ボランティア登録状況	自主	地域福祉課

会員の高齢化に加え、コロナ禍での活動が難しく減少傾向でしたが、新しく 2 グループの登録がありました。

区分	R3	R4	郷ノ浦	勝本	芦辺	石田	当年度末①	前年度末②	増減①-②
グループ数	44	37	11	7	8	10	36	37	▲ 1
グループ加入人数	811	695	172	88	174	181	615	695	▲ 80
個人ボランティア数	16	17	1	1	2	0	4	17	▲ 13

Ⅳ. 相談支援事業・日常自立支援事業・生活困窮者自立支援事業・貸付事業

1	介護予防教室（はつらつ元気塾）	市委託	地域福祉課

コロナによる開催自粛は 5/8 に解除されました。8/8～8/10 は台風接近に伴い、定例講座が 3 回、出前講座が 4 回中止となりました。※集中講座は、4 町より参加者を募集し、大谷体育館に集まり、スポーツウェルネス吹矢を実施しました。

		当年度末①		前年度末②		増減①-②	
合計		実績合計	月平均	実績合計	月平均	実績合計	月平均
定例講座	回数（回）	93	8	73	6.0	20	2
	人数（人）	2,495	208	1,575	131.1	920	77
出前講座	回数（回）	242	20	168	13.8	74	6
	人数（人）	2,195	183	1,520	126.6	675	56
集中講座	人数（人）	26	26	0	0.0	26	26
合計回数（回）		335	28	241	19.8	94	8
合計人数（人）		4,716	417	3,095	257.7	1,621	159

月平均合計人数の前年比　162%

2	地域包括支援センター相談窓口業務	市委託	地域福祉課

在宅介護に関する総合的な相談支援を行い、相談実人数は 374 名の増、相談件数は 200 件の増加となりました。

⑴ 町別相談実績

				R5	
		R3	R4	実績	月平均
郷ノ浦	相談実人員	126	151	175	14.6
	相談件数	180	239	223	18.6
勝本	相談実人員	131	109	359	29.9
	相談件数	247	166	385	32.1
芦辺	相談実人員	141	207	240	20.0
	相談件数	279	330	284	23.7
石田	相談実人員	95	101	168	14.0
	相談件数	167	153	196	16.3
合計	相談実人員	493	568	942	78.5
	相談件数	873	888	1,088	90.7

月平均相談件数の前年比　123%

⑵ 相談形態別受付状況

月	項目	R3	R4	R5				
				郷ノ浦	勝本	芦辺	石田	合計
合計	相談件数	873	888	220	385	285	198	1088
	形態　電話	335	255	76	30	89	21	216
	来所	68	34	2	1	11	1	15
	訪問	420	499	140	350	171	162	823
	その他	50	100	3	0	17	14	34

3	老人ホーム入所判定調査	市委託	地域福祉課

壱岐市より委託され、老人ホーム入所判定調査を行いました。R6.3 月 31 時点の待機者は 144 名で、待期期間は約 6 年となりました。

	R3	R4	R5 実績合計
郷ノ浦　実人員	7	8	4
勝　本　実人員	10	4	6
芦　辺　実人員	18	5	13
石　田　実人員	5	3	3
合　計　実人員	40	20	26

4	日常生活自立支援事業	県社協委託	生活支援課

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な者が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用に関する情報提供、助言、手続の援助、利用料の支払い等を行っています。R5 年度は新規契約が 10 件ありました。解約が 13 件あり、そのうち死亡が 6 件、家族管理が 4 件、老人ホーム入所が 2 件、専門職の法律事務所へ成年後見制度移行が 1 件ありました。

認知症　区分	R3	R4	R5	月平均
契約締結件数	36	30	27	
相談支援延べ件数	1,711	1,114	1,012	▲ 8

知的障害　区分	R3	R4	R5	月平均
契約締結件数	16	15	15	
相談支援延べ件数	925	678	516	▲ 14

精神障害　区分	R3	R4	R5	月平均
契約締結件数	10	9	8	
相談支援延べ件数	380	442	295	▲ 12

その他　区分	R3	R4	R5	月平均
契約締結件数	1	1	2	
相談支援延べ件数	66	63	60	▲ 0

合計　区分	R3	R4	R5	月平均
契約締結件数	63	55	52	
相談支援延べ件数	3,082	2,297	1,883	▲ 62

5	生活困窮者自立支援事業	市委託	生活支援課

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等を行っています。

（1）壱岐市生活相談支援センター運営

①相談支援実績

区　分	R3	R4	R5	月平均
（1）新規受付件数	115	77	49	4
①病気・健康・障害等	19	20	13	
②住居等に関すること	9	7	12	
③生活費・収入等	98	61	35	
④借金・ローン等	2	1	1	
⑤税金・料金滞納	7	3	6	
⑥上記以外の金銭に関する	0	3	4	
⑦仕事・就労に関すること	6	5	6	
⑧仕事上のトラブル	21	6	5	
⑨地域との関係	0	0	0	
⑩家庭関係	1	3	5	
⑪子育て	2	2	0	
⑫介護	1	3	2	
⑬引きこもり・不登校	1	0	0	
⑭ＤＶ・虐待等	0	1	1	
⑮食べるものがない	0	0	0	
⑯その他	55	25	9	
合計	222	140	99	
（2）支援決定件数	45	14	3	
（3）計画作成件数	96	43	4	
（4）終結件数	49	22	32	
（5）相談支援回数	738	661	499	42

②支援調整会議の開催

生活困窮者の自立支援を促進し、自立した社会生活を送ることを目的として、市民福祉課、保護課、グリーンコープ専門相談員を参集し、作成した支援プランの内容に関する協議及び検証、支援内容の検証及び評価、関係機関及び関係者の役割並びに事後評価等の検証を行いました。

	期日	会場	出席者数	内容
1	R5.4.12	壱岐市郷ノ浦庁舎	9名	3月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
2	R5.5.10	壱岐市郷ノ浦庁舎	8名	4月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
3	R5.6.7	壱岐市郷ノ浦庁舎	7名	5月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
4	R5.7.12	壱岐市郷ノ浦庁舎	8名	6月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
5	R5.8.9	壱岐市郷ノ浦庁舎	8名	7月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
6	R5.9.13	壱岐市郷ノ浦庁舎	8名	8月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
7	R5.10.11	壱岐市郷ノ浦庁舎	9名	9月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
8	R5.11.15	壱岐市郷ノ浦庁舎	8名	10月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
9	R5.12.13	壱岐市郷ノ浦庁舎	9名	11月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
10	R6.1.17	壱岐市郷ノ浦庁舎	8名	12月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
11	R6.2.14	壱岐市郷ノ浦庁舎	9名	1月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議
12	R6.3.13	壱岐市郷ノ浦庁舎	9名	2月相談受付状況報告、支援プラン経過報告、支援協議

③生活支援ネットワーク会議の開催

地域の関係機関である保健所、警察、弁護士、ハローワーク、商工会、金融機関、保護司、民生委員、教育委員会、市民福祉課、税務課等の委員を参集し、生活困窮者の把握及び見守り、相談支援の実施、進捗及び評価、社会資源の開発及び改善等の目的を達成するために協議を年１回行っています。

	期日	会場	出席者数	内容
1	R5.8.25	壱岐の島ホール	21名	R4年度相談実績、事例報告、事業説明

④家計改善支援事業への協力

家計改善支援事業は壱岐市とグリーンコープ（長崎）の契約事業です。生活再生支援事業の中の家計相談支援をグリーンコープ（長崎）の家計改善支援員が来島し、月 2 回家計の困りごと相談に壱岐市社会福祉協議会も同行して対応。さらに継続面談、同行支援も行いました。

R4.7～

新規相談者	R4	R5	月平均
世帯数（件）	10	9	
人数(人)	25	23	1.9

6	心配ごと相談事業	市補助	生活支援課

心配ごと相談員（5 名委嘱）を配置し、令和 5 年度から月に１回、第 2 火曜日の 9 時から 11 時まで相談員（うち弁護士 2 名含む）による相談場所を１ヵ所にとし、支所持ち回りで開設を統一しました。

①相談件数　（開設日数/相談件数）

実施場所	R3	R4	R5
郷ノ浦町デイサービスセンター	6日/8件	5日/18件	3日/14件
勝本町かざはや	3日/6件	6日/27件	3日/24件
芦辺町つばさ	6日/22件	5日/20件	3日/23件
石田町総合福祉センター	3日/14件	6日/25件	3日/20件
計	18日/50件	22日/90件	12日/81件

②相談内容

相談内容	R3 延べ実績数	R4 延べ実績数	R5 延べ実績数
生　　計	3	5	2
年　　金	0	0	0
職業・生業	1	2	2
住　　宅	4	5	3
家　　族	8	11	4
結　　婚	1	1	2
離　　婚	4	3	3
健康・衛生	1	1	2
医　　療	1	1	1
精 神 衛 生	0	2	0
人権・法律	12	15	1
財　　産	24	47	44
事　　故	2	1	1
児童福祉・母子保健	0	0	0
教育・青少年	0	0	0
障害者福祉	1	1	1
母子・父子	0	0	0
老 人 福 祉	0	1	0
苦　　情	6	1	0
そ　の　他	1	6	16
合計	69	103	82
		実績数の前年比	80%

※1件で複数の相談項目が重複することがあるため相談件数と一致しない

③相談員運営会議、研修会の実施

相談員同士で意見交換や研修を実施しました。

回数	主な内容	
1	相談時間を30分に改めました。	相続相談数　44
	弁護士による『相続』の研修会を行いました。	参加者数　10

7　生活福祉資金等貸付事業　｜　県社協委託　｜　生活支援課

（1）　生活福祉資金

長崎県社協の福祉資金貸付事業を受託しています。低所得世帯を対象に生活福祉資金や教育支援資金等の貸付を行っています。令和５年度は、福祉資金貸付１件、教育支援資金貸付３件を行いました。

（単位：円）

資金名	R3		R4		R5	
福祉資金	0件	0	1件	1,940,000	1件	2,500,000
教育支援資金	2件	4,280,000	2件	5,380,000	3件	6,070,000
合計	2件	4,280,000	3件	7,320,000	4件	8,570,000

(2)　緊急小口資金・総合支援資金（新型コロナ特例貸付）

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入が減少した世帯を対象に、生活資金の貸付を行いました。本貸付は令和４年９月３０日で終了しております。現在、非課税世帯を対象に免除申請支援、貸し付け後も生活に困窮している世帯には、自立相談支援の上、適宜償還猶予支援等のフォローアップを行っています。

（単位：円）

コロナ特例貸付	貸付件数	貸付金額	免除件数	免除金額	免除割合
緊急小口資金	132件	24,450,000	76件	13,800,280	56%
総合支援資金	152件	79,650,000	68件	35,660,000	45%
合計	284件	104,100,000	144件	49,460,280	48%

※貸付件数・貸付金額は、特例貸付受付開始時（R2/3/25）から終了時（R4/9/30）までの集計値

8	福祉資金貸付事業	自主	生活支援課

(1)　貸付の状況

壱岐市社協独自の貸付制度で、日常の生活費などに困窮された者に貸付を行っています。また、資格取得を支援するため、職員特別貸付も行っています。令和５年度は、生活資金貸付０件、職員特別貸付１件を行いました。

（単位：円）

資金名	R3		R4		R5	
生活資金	1件	100,000	1件	25,000	0件	0
職員特別貸付	6件	500,000	2件	160,000	1件	80,000
合計	7件	600,000	3件	185,000	1件	80,000

(2)　債権管理状況

（単位：円）

項　目	R3		R4		R5	
期末貸付残高	21件	1,146,000	12件	565,000	6件	249,000
欠損処理	1件	32,000	0件	0	4件	234,000
資金回収金額		222,500		581,000		82,000

Ⅴ．法人後見事業

Ⅰ	法人後見事業・中核機関事業	市委託	生活支援課

⑴法人後見センター事業

認知症高齢者及び知的障害者、精神障害者等の判断能力の不十分な者を支援するため、本会が成年後見人等となることにより、成年被後見人等の財産管理、身上監護を行うことによって、その権利を擁護しています。

＜法人後見受任状況＞

類　型	R3	R4	R5	延べ実績数
後　見	1	1	0	2
保　佐	0	1	0	1
補　助	0	0	0	0
合　計	1	2	0	3

⑵市民後見人の養成研修等の実施

長崎県社協と壱岐市の共催にて市民後見人候補者養成研修を開催し、市民後見人の育成及び活用の方向性を検討しました。市民公募にて参加された13名の中には、元市職員・税理士・社会福祉士・福祉関係者・一般市民などがおり、成年後見制度や市民後見人についての理解を深めました。

	期日	研修名	出席者数	内容
1	R5.9.12	市民後見人候補者養成研修（Zoom研修）	12名	成年後見制度概論、日常生活自立支援事業、対象者の特性の理解と接し方
2	R5.9.19		13名	意思決定支援の基礎、対象者をとりまく危険Ⅰ
3	R5.9.26		13名	対象者をとりまく危険Ⅱ、対人援助の基礎、日自支援員の活動の実際
4	R5.10.10		13名	福祉サービス等の理解Ⅰ、福祉サービス等の理解Ⅱ
5	R5.10.17		13名	成年後見制度の相談から申立て、成年後見人等の職務Ⅰ・Ⅱ
6	R5.10.24		13名	成年後見人等の職務Ⅲ、意思決定支援、市民後見人の活動の実際
7	R5.12.22	1日目の補講	1名	成年後見制度概論、日常生活自立支援事業、対象者の特性の理解と接し方


市民後見人候補者養成研修

⑶ 中核機関事業

令和５年 11 月から中核機関として重要な責務を担うことになりました。

現下の状況は、成年後見制度等の権利擁護支援を円滑に利用できるよう必要な支援を行い、その人が住み慣れた地域でその人らしい生活ができるよう、成年後見制度の利用促進を行っています。

①広報・啓発

制度の利用促進が図られるよう、市民の関心の高いテーマと関連付けるなど、対象に応じた内容による啓発を行いました。

	期日	対象	出席者数	周知内容
1	R6.1.11	芦辺町民生委員	22名	中核機関や権利擁護に関する説明。パンフレット配布。
2	R6.1.19	郷ノ浦町民生委員	29名	中核機関や権利擁護に関する説明。パンフレット配布。
3	R6.1.19	勝本町民生委員	16名	中核機関や権利擁護に関する説明。パンフレット配布。
4	R6.1.24	一般市民	19名	中核機関・権利擁護・遺言・エンディングノート・パンフレット配布
5	R6.2.16	石田町民生委員	16名	中核機関や権利擁護に関する説明。パンフレット配布。
6	R6.2.20	一般市民	40名	中核機関・権利擁護・遺言・エンディングノート・パンフレット配布

※出席者合計 142名

②権利擁護サポート会議の開催

裁判所・弁護士・司法書士・社会福祉士・市民福祉課・保険課の職員を参集し会議を開催しました。会議では、被後見人等への支援内容の報告や課題協議・受任調整・情報共有を行い、今後の支援方法について協議を行いました。また新規相談に関しては、対象者のニーズを分析・判断し、介入方法・支援方針を決定しました。令和５年 11 月からは本会が中核機関の役割を担い会議を開催しています。

	期日	会場	出席者数	内容
1	R5.4.17	壱岐の島ホール	17名	ケース会議、受任者調整、中核機関の設立準備
2	R5.5.15	壱岐の島ホール	17名	ケース会議、受任者調整、中核機関の設立準備
3	R5.6.19	壱岐の島ホール	17名	ケース会議、受任者調整、中核機関の設立準備
4	R5.7.18	壱岐の島ホール	17名	ケース会議、受任者調整、中核機関の設立準備
5	R5.8.25	壱岐の島ホール	17名	ケース会議、受任者調整、中核機関の設立準備
6	R5.9.22	壱岐の島ホール	18名	ケース会議、受任者調整、中核機関の設立準備
7	R5.10.23	壱岐の島ホール	11名	事例検討、受任状況、中核機関の設立準備
8	R5.11.20	壱岐の島ホール	15名	事例検討、受任状況、中核機関として社協が会議の進行
9	R5.12.18	壱岐の島ホール	14名	事例検討、受任状況
10	R6.1.22	壱岐の島ホール	13名	事例検討、受任状況
11	R6.2.19	壱岐の島ホール	15名	事例検討、受任状況
12	R6.3.25	壱岐の島ホール	13名	事例検討、受任状況

Ⅵ．障害者相談支援センター事業

Ⅰ	障害者相談支援センター事業	給付サービス	生活支援課

障害者又は障害児の保護者の総合的な相談に応じるとともに、必要な障害福祉サービスの利用支援を行いました。

①障害者

区　分	R3	R4	R5
実人数	52	48	53
計画作成数	103	114	125

②児童

区　分	R3	R4	R5
実人数	27	27	22
計画作成数	53	55	52

③障害者支援区分認定調査

障害者の障害区分の新規認定、更新認定に伴う調査を行いました。

区　分	R3	R4	R5
件数	33	34	36

Ⅶ. 在宅福祉事業

※利用者数は月平均値で表示

1	障害者ホームヘルプサービス事業	給付サービス	各４支所

昨年度より利用控えは減少しましたがり、利用実績は前年比４％減少。収益実績も５０万円減程度で横ばい状態です。しかし、実人員に大幅な減少はみられず、1人あたりの利用回数が減少していることが要因です。

区　　分		R3	R4	R5
合計	実人員（人）	55	50	47
	回数	615	578	556
	時間	603	508	491
	収益計（円）	22,296,640	21,899,550	21,395,530
	費用計（円）	15,499,593	14,057,873	13,300,177
	収支差額（円）	6,797,047	7,841,677	8,095,353

2	障害者訪問入浴サービス事業	市委託	勝本支所

実人員は２名で、定期的に週２程度の利用でした。

区　分	R3	R4	R5
実人員（人）	1	1	2
利用回数	7	8	9

3	障害児・者日中一時支援事業	市委託	郷ノ浦・芦辺支所

①障害デイサービス（芦辺）　※対象：18歳以上

新型コロナウイルスが5類に移行し、利用自粛などが減少しました。利用者数は徐々に回復傾向で、1日の平均利用者数は前年比１％程度と横ばい状態に留まりました。収支差額では依然と回復困難です。

区　分	R3	R4	R5
実人員（人）	35	31	30
利用者数（人）	352	321	325
開所日数（日）	26	26	26
一日平均（人）	14	12	13
収益計（円）	34,814,180	33,160,174	34,963,580
費用計（円	44,776,512	42,604,721	41,691,430
収支差額（円）	△ 9,962,332	△ 9,444,547	△ 6,727,850

②ジュニアデイサービス（郷ノ浦）　※対象：未就学児

春休み期間中のみの利用です。未就学児１名の利用がありました

区　分	R3	R4	R5
実人員（人）	0	2	1
利用者数（人）	0	7	9
開所日数（日）	0	5	9
一日平均（人）	0	1	1

4	障害者移動・外出支援事業	市委託	各４支所

⑴外出支援サービス事業（タクシー会社と連携）

外出支援（高齢者の医療機関等への車両移送支援）は、透析の為の定期的な利用が増加、前年比２％程度増加しました。

区　分	R3	R4	R5
実人員（人）	58	56	58
利用回数	166	155	159

⑵障害者移動支援事業

①車両移送支援（タクシー会社と連携）

車両移送支援（障がい者等の医療機関等への車両移送支援）の実人員は増加しましたが、月平均の利用回数は、前年比１％減となりました。

区　　分		R3	R4	R5
車両移送	実人員（人）	58	53	60
	回数	456	486	483

②個別移動支援

個別移動支援（障がい者等の散歩等の外出支援）の実人員は増加しましたが、月平均の利用回数は、前年比１％減となりました。

区　　分		R3	R4	R5
個別移動	実人員（人）	2	2	1
	回数	6	5	3

5	配食サービス事業	市委託	各４支所

ケアマネージャー、壱岐市地域包括支援センターからの依頼が中心となって毎日型の利用者数が増え、１日平均１９食増、前年比１２％増となりました。一方、収支差額は依然として低迷状態にあります。利用傾向としては、怪我、骨折、また病弱による身体機能の低下により調理が出来ず栄養の偏りが生ずることから、栄養管理面での不足を補うための利用が増えました。

区　分	R3	R4	R5
実人員（人）	252	260	284
配食数（食）	4,618	4,843	5,420
一日平均（食）	152	159	178
収益計（円）	57,877,444	60,929,559	69,762,685
費用計（円）	72,546,479	72,957,169	87,780,719
収支差額（円）	△ 14,669,035	△ 12,027,610	△ 18,018,034

Ⅷ．子育て支援事業

※利用者数は月平均値で表示

1	地域子育て支援拠点事業	市委託	勝本支所

拠点施設事業（かざはや）の教室参加、ひろば開放の利用者数４３％増。子育て親子の出会いの場がコロナ禍前並みに回復となりました。

⑴拠点施設事業（かざはや）

区　分	R3	R4	R5	主な活動内容
交流の場（大人）	22	34	54	かざはやひろば、あそび教室
交流の場（子供）	24	38	52	
子育て講習（大人）	50	59	85	季節遊び（こいのぼり製作等）、ベビータイム、いきいっぽ、日赤講習会
子育て講習（子供）	56	59	84	
子育て相談	3	4	2	
一時預かり	1	1	3	
合計	155	194	278	

⑵地域支援活動（つばさ）

区　分	R3	R4	R5	主な活動内容
出張ひろば（大人）	5	5	13	毎週金曜日9:00～14:00に実施
出張ひろば（子供）	6	6	14	
育児サークル（大人）	0	1	3	第一木曜日10:00～11:30に実施
育児サークル（子供）	0	1	3	
合計	10	12	31	

⑶おもちゃ図書館の運営

期日	R3	R4	R5
利用者数	37	29	113

2	ファミリーサポート事業	市委託	勝本支所

⑴ファミリーサポートセンター運営

急な仕事や兄弟の学校行事の際の預かり、産前産後の兄弟児見守りの依頼の対応を行いました。

①登録会員数

区　分	R3	R4	R5
援助会員	64	79	84
依頼会員	111	117	124
両方会員	7	6	6

②支援実績

区　分	R3	R4	R5
預かり	3	3	6
送迎	1	1	0
その他	0	0	0
合計	4	4	6

⑵ファミリサポートセンター援助会員養成講座の開催

今年度は8/28～9/17の毎週日曜に援助会員養成講習会を行いました。受講者12名中10名が全受講を修了しました。受講修了した10名が援助会員の登録をいただきました。

期日	R3	R4	R5
修了者	7	16	10
未修了者	1	2	2
合計	8	18	12

援助会員養成講習会　講師一覧表

	所　属	講義科目	時間（目安）
1	保育士	保育の心	2時間
2	内科医院	身体の発育と病気	2時間
3	託児所	子どもの世話	2時間
4	臨床心理士	心の発達とその問題	3時間
5	いきいろこども未来課　保健師	小児看護の基礎知識	3時間
6	壱岐消防署	安全・事故	4時間
7	石田こども園	子どもの遊び	2時間
8	栄養士	子どもの栄養と食生活	2時間
9	社協　勝本支所	事業説明	4時間
合　　計			24時間

3　放課後児童クラブ事業　｜　市委託　｜　各４支所

コロナ感染症５類移行後、登録者・利用者数ともに増加しました。新一年生・進級した低学年が利用する１学期は毎日利用が増加。しかし2学期以降は部活等や生活リズムが整った中高学児童数が減少する傾向にあります。

①郷ノ浦（平日）

区分	R3	R4	R5
実人員	28	34	31
利用者数	237	266	254
開所日数	16	17	17
一日平均	14	15	15

（土・学校休業日）

区分	R3	R4	R5
一日平均	7	9	6

②勝本（平日）　　新設

区分	R3	R4	R5
実人員		17	24
利用者数		158	229
開所日数		17	17
一日平均		9	14

（土・学校休業日）

区分	R3	R4	R5
一日平均		5	6

③芦辺（平日）

区分	R3	R4	R5
実人員	36	39	49
利用者数	326	333	400
開所日数	17	16	18
一日平均	19	20	23

（土・学校休業日）

区分	R3	R4	R5
一日平均	5	7	9

④石田（平日）

区分	R3	R4	R5
実人員	19	17	28
利用者数	223	170	284
開所日数	17	16	17
一日平均	13	10	17

（土・学校休業日）

区分	R3	R4	R5
一日平均	4	3	5

4	放課後等デイサービス事業	給付サービス	郷ノ浦支所

コロナ５類移行後は、利用自粛・利用控えも減少し、前年比で平日利用者数３５％増、休業日利用者数２２％増加するなどの要因で、収支差額はプラス３００万となりました。

①（平日）

区　分	R3	R4	R5
実人員（人）	17	14	18
利用者数（人）	188	170	230
開所日数（日）	19	16	17
一日平均（人）	10	11	14
収益計（円）	23,734,968	25,437,933	32,893,333
費用計（円）	25,153,039	26,879,342	29,912,133
収支差額（円）	△ 1,418,071	△ 1,441,409	2,981,200

②（土・学校休業日）

区　分	R3	R4	R5
実人員	15	12	14
利用者数	65	67	82
開所日数	8	9	8
一日平均（日）	8	8	11

Ⅸ．介護保険事業

※利用者数は月平均値で表示

1 居宅介護支援事業

給付サービス：郷ノ浦・芦辺支所

死亡や入院・入所等による減少はありましたが、在宅サービス等の依頼により実人員で月平均２０名、前年比４％増となりました。利用増に伴い収支差額はプラス２，９００万円となりました。

区　分		R3	R4	R5
合　計	実人員（人）	527	521	543
	支援実績（人）	527	523	543
	収益計（円）	113,143,910	112,883,723	117,103,305
	費用計（円）	78,907,509	81,030,342	87,967,998
	収支差額（円）	34,236,401	31,853,381	29,135,307

2 訪問介護事業

給付サービス：各４支所

コロナ5類移行後、利用回数・利用時間は月平均９６回増、前年比３％増となりました。身体介護・生活援助の利用は徐々に回復傾向になり、収支差額はプラス１，３００万となりました。

今後の課題は、人材が高齢者が多いこと、人材確保に難点となっています。

区　分		R3	R4	R5
合　計	実人員（人）	389	362	397
	回数	3,914	3,333	3,429
	時間	3,606	3,065	3,161
	収益計（円）	167,734,863	146,932,745	149,126,908
	費用計（円）	148,940,278	130,671,673	135,180,317
	収支差額（円）	18,794,585	16,261,072	13,946,591

3 訪問入浴介護事業

給付サービス：勝本支所

要介護３以上の利用が多く、新規依頼で、み取り（ターミナル）での利用が多いため、短期的なサービス提供となりました。現下のニーズは横ばい状態です。難点は三島の訪問入浴対応が今後の対応です。

区　分		R3	R4	R5
合　計	実人員（人）	12	10	10
	回数	49	42	44
	収益計（円）	9,150,455	7,926,576	7,568,073
	費用計（円）	5,768,470	9,940,214	9,597,591
	収支差額（円）	3,381,985	△ 2,013,638	△ 2,029,518

4 通所介護事業

給付サービス　各４支所

コロナ感染による休所もなく予定通りの通常開所運営となりました。利用自粛や利用控えも減少し、利用実績が大幅に増加した結果、収益は上向き傾向となり、収支差額はマイナス370万となりました。

区　分		R3	R4	R5
合　計	実人員（人）	313	294	303
	利用者数（人）	2,774	2,518	2,729
	開所日数（日）	26	25	26
	一日平均（人）	27	25	26
	収益計（円）	270,488,419	246,304,436	266,159,205
	費用計（円）	280,472,925	272,738,443	269,878,215
	収支差額（円）	△ 9,984,506	△ 26,434,007	△ 3,719,010

5 ゆうゆうお達者クラブ事業

給付サービス　郷ノ浦・芦辺支所

①芦辺：各町から要支援対象者等の利用受入を行っています。5類移行後は利用者数は徐々に回復傾向にあります。

②郷ノ浦（大島・原島）：大島は実利用者８名のうち４名の要介護者の受入をしている状況でした。また、原島においては利用者がいないため昨年7月より閉所となっています。

収支差額はマイナス350万でした。

区　分		R3	R4	R5
合　計	実人員（人）	113	77	79
	利用者数（人）	625	419	445
	収益計（円）	26,932,052	21,718,790	23,203,235
	費用計（円）	34,407,385	26,018,586	26,737,174
	収支差額（円）	△ 7,475,333	△ 4,299,796	△ 3,533,939

R3.11湯ノ本廃止

6 福祉用具貸与事業

給付サービス　芦辺支所

各居宅支所関係部署や医療機関より新規依頼等により大幅増加傾向にあります。関係職員の協調体制の賜物と思料します。利用増に伴い収益実績が７７０万円増と大幅に伸びていますが、消費税の厳格な調整も念を入れています。

区　分		R3	R4	R5
合　計	実人員（人）	426	435	478
	利用件数（人）	421	435	478
	収益計（円）	67,224,116	68,604,372	76,367,948
	費用計（円）	67,267,140	68,910,757	75,770,466
	収支差額（円）	△ 43,024	△ 306,385	597,482

7 福祉用具販売事業

自主　芦辺支所

オムツ、介護用品、衛生用品等の販売の他、特定福祉用具販売では腰掛便座（ポータブルトイレ）と入浴用品（浴槽台など）の相談が大半で利用者がイメージが持てるようにデモを行いました。収益実績、収支差額とも増加となりました。

		R3	R4	R5
合計	利用件数（人）	15	13	14
	収益計（円）	19,104,545	16,394,079	17,211,642
	費用計（円）	19,170,031	16,264,466	16,807,540
	収支差額（円）	△ 65,486	129,613	404,102

X．施設管理

1	福祉センター等指定管理事業	市指定管理	各４支所

地域福祉活動拠点施設として、壱岐市より社協が指定管理業務を受けて、施設の美化と健全な運営に努めました。

⑴福祉センター利用状況

新型コロナ感染症が５類移行、施設利用が緩和されたこともあり利用者は増加となりました。

①郷ノ浦デイサービスセンター　　指定管理期間R4.4.1～R7.3.31　　（単位：名）

施設の一般貸出はありません

②勝本町かざはや　　指定管理期間R4.4.1～R7.3.31

	ゲートボール場	キッズゲレンデ	会議室等	一般入浴	合計
R3	2,388	35	7,372	1,419	11,214
R4	3,484	38	7,145	2,590	13,257
R5	4,317	16	8,284	3,515	16,132

③芦辺町つばさ　　指定管理期間R4.4.1～R7.3.31

	ゲートボール場	イベントハウス	会議室等	一般入浴	合計
R3	－	0	8,752	2,617	11,369
R4	－	16	9,924	3,219	13,159
R5	－	10	13,924	3,250	17,184

④石田町総合福祉センター　　指定管理期間R4.4.1～R7.3.31

	生きがい広場	花雲亭	会議室等	一般入浴	合計
R3	17,081	0	154	－	17,235
R4	16,431	54	85	－	16,570
R5	15,226	10	117	－	15,353

⑵避難所等の開設・受入状況

R5.8.9に台風６号が接近に伴い、避難者の受入を行いました。

	郷ノ浦	勝本	芦辺	石田	当年度末
世帯数	―	11	18	―	29
人数	―	12	22	―	34